



株主のみなさまへ

第99期 株主通信

2024年4月1日～2025年3月31日

Contents	トップメッセージ	1	会社情報	9
	中期経営計画	2	株式情報・CSR	10
	資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応	3	グローバルネットワーク	裏表紙
	連結決算ハイライト	5		
	事業概況	6		
	トピックス	7		



代表取締役社長

梶村 聡

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2025年3月期連結会計年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に弱めの動きもみられるものの、緩やかに回復しました。一方で、世界経済は緩やかな成長が続くものの、ウクライナや中東情勢をはじめとする地政学的リスクや、中国や欧米を中心とした景気後退懸念などにより依然として先行き不透明な状況が続きました。

香料業界におきましては、内外経済の動向に合わせる形で、全体として堅調に推移しました。

このような中、当社グループは「人にやさしく、環境にやさしく」をスローガンとする『Vision 2040』のもと、中期経営計画『New Global Plan-2【NGP-2】』（2024-2026年度）を推進してまいりました。

当連結会計年度の売上高は、前期比17.0%増の229,207百万円となりました。利益面では、営業利益は前期比562.4%増の15,341百万円、経常利益は前期比225.3%増の15,311百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比393.8%増の13,325百万円となりました。

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け、資本コストを意識した資本構成および資金配分の最適化の観点から、必要な資本政策を実施しております。また、2024年度より開始した【NGP-2】では、資本収益性の改善と株主還元強化の強化に取り組んでおります。当社の事業計画における必要な資金需要、成長への各種投資、株主還元等のバランスを総合的に勘案した結果、2025年3月期の期末配当を160円00銭に増額し、年間配当を240円00銭に修正することといたしました。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

New Global Plan-2 【NGP-2】

Vision 2040

人にやさしく、環境にやさしく

1. 多様な価値観を尊重する
2. 自然と共生し、人々の生活に彩りを与える
3. 夢と誇りを持って未知の世界へ挑戦する
4. 常に高い技術を追求する、かけがえのない会社

NGP-2 中期経営計画 New Global Plan-2

基本方針



【NGP-2】では、各基本方針における重要成功要因 (Key Success Factors) を設定しています。
当社が基本方針のもとで何に注力しようとしているのか、方向性をステークホルダーに示してまいります。

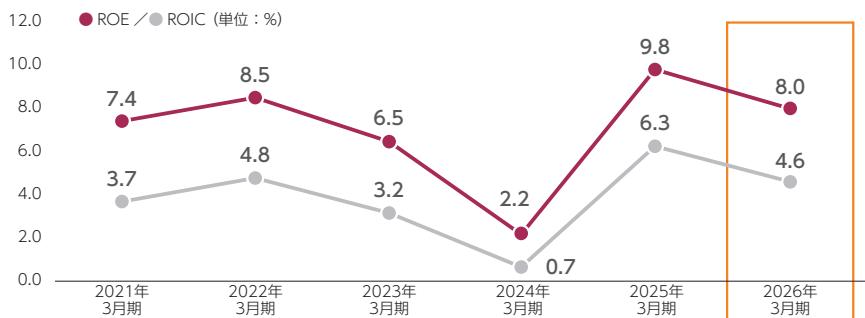
Key Success Factors

- 事業軸の成長戦略
- 新規顧客の開拓
- 売上総利益の拡大
- 海外サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- 売上総利益の最適化
- 費用の構造改革
- 新領域の開拓
- フレーバー・フレグランス製品生産効率性の追求
- 合成事業生産体制の再構築
- 国内サプライチェーンの最適化
- 先端科学による競争力のある技術の創成
- Sustainability2030の実行
- コーポレート基盤の強化
- 人的資本の価値最大化
- 業務遂行力の向上
- SDGsへの貢献を意識した製品の開発

東証からの要請である、「資本コストや株価を意識した経営」については、2024年3月末、中期経営計画【NGP-2】とあわせて公表いたしました。今回、NGP-2初年度の状況を踏まえて、資本政策目標およびキャピタルアロケーションのアップデートを行いました。

資本収益性に関する分析

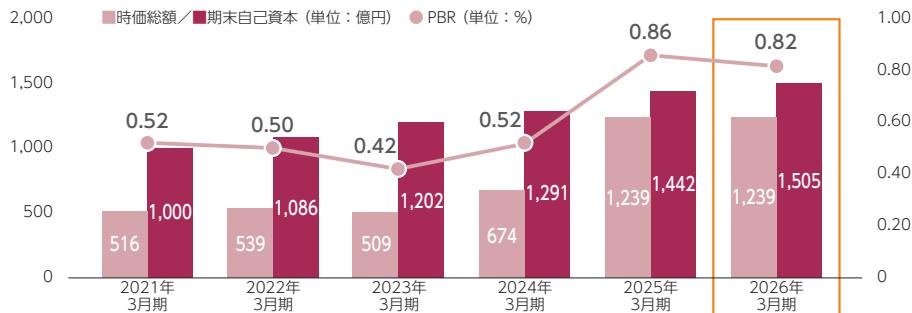
○ 2025年3月期は、営業利益の改善に加え、政策保有株式の売却による特別利益の計上により、ROEはNGP-2目標水準を上回る9.8%となりました。



市場評価に関する分析

○ PBRは、直近では0.8倍を超える水準まで回復したものの1倍を安定的に超える水準にはないため、下記取り組みを実施します。

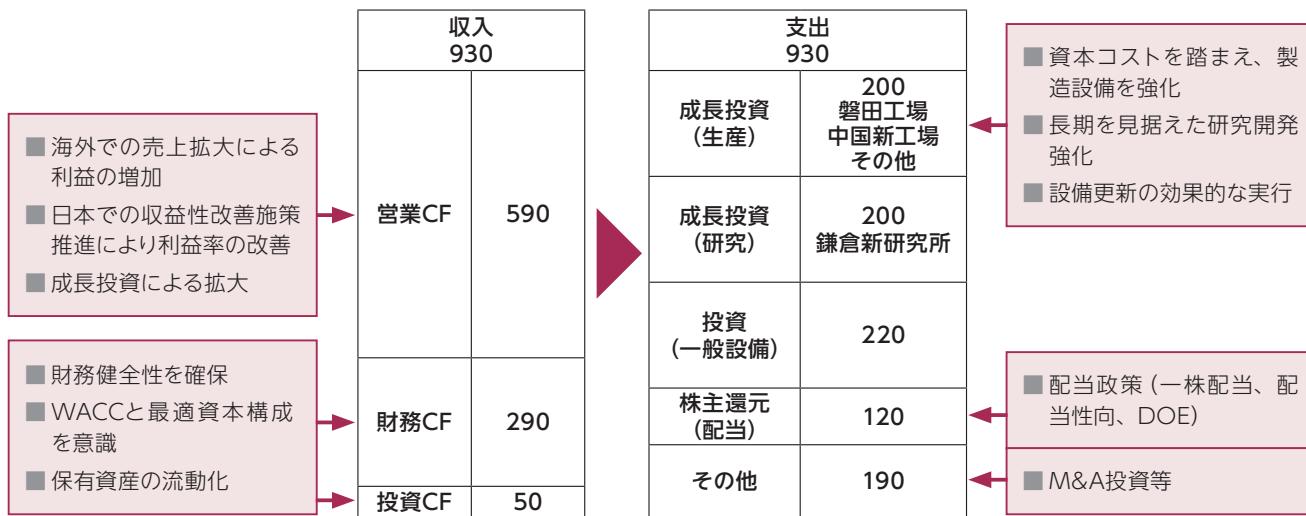
- 安定的な配当政策の継続、定量目標の達成
- 中長期保有の国内および海外投資家を中心に面談
- 株式分割 (1株 → 5株) により投資しやすい環境の整備



※ 2025/3/31 時点の株価 (6,360円) で時価を算定

NGP-2 期間 (3カ年) キャピタルアロケーション

○ 営業CF (キャッシュフロー)、投資CF改善により増加した資金を成長投資と株主還元へ配分



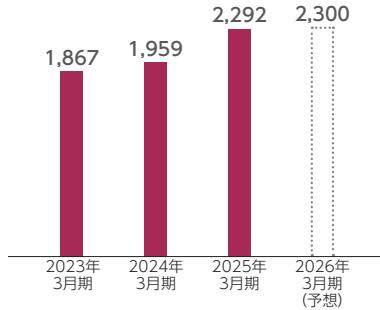
NGP-2 資本政策 目標のアップデート

○ 中長期にわたり当社株式を保有されている国内および海外株主の皆様との対話を踏まえ、目標を変更

	【当初】 2024年3月公表 NGP-2 (2024-2026)	【変更後】 2025年3月公表 NGP-2 (2024-2026)
ROE (期間)	4.0%~8.0%	8.0%~
自己資本比率 (最終年度)	57%	55%
EBITDA (累計)	490億円	620億円
設備投資 (累計)	570億円	620億円
政策保有株式 対連結純資産比率 (最終年度)	14%	10%
1株配当 (期間)	80円~160円	240円~
配当総額 (累計)	72億円	140億円~
配当性向	30%~ (平均)	30%~ (期間)
DOE	2.0%~ (最終年度)	3.0%~ (期間)

売上高

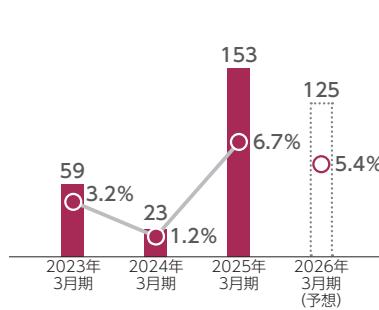
単位：億円



営業利益／売上高営業利益率

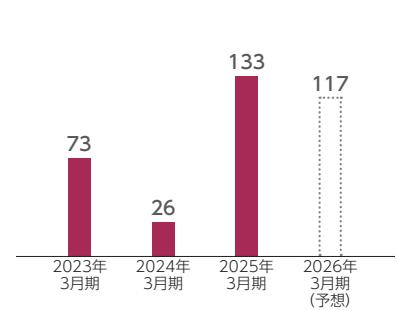
単位：億円

■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



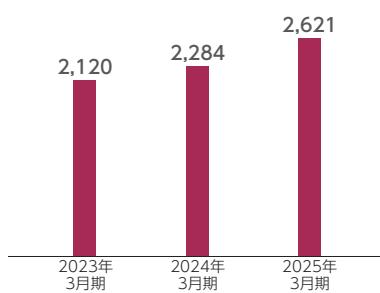
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：億円



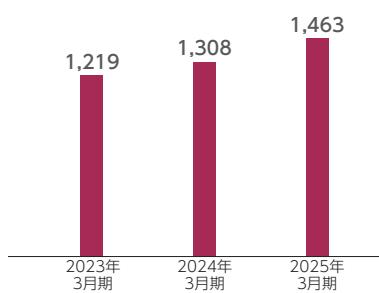
総資産

単位：億円



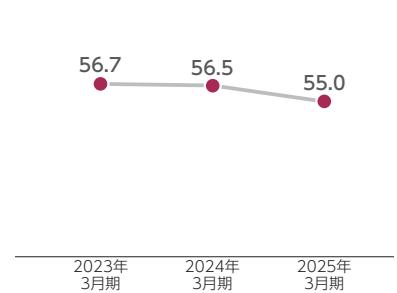
純資産

単位：億円



自己資本比率

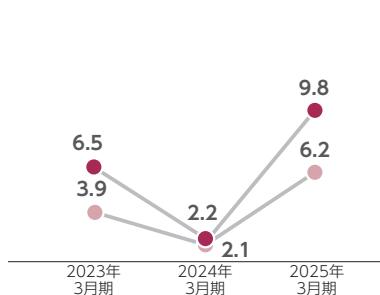
単位：%



ROE(自己資本当期純利益率)／ROA(総資産経常利益率)

単位：%

● ROE ● ROA



EPS(1株当たり当期純利益)／BPS(1株当たり純資産)

単位：円

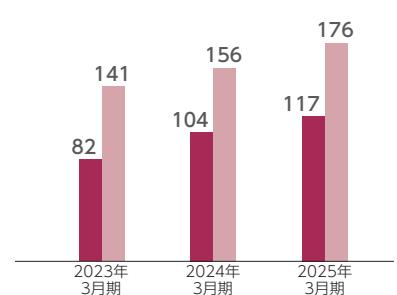
■ EPS ■ BPS



設備投資額／研究開発費

単位：億円

■ 設備投資額 ■ 研究開発費



詳細な財務データは当社IRサイトをご覧ください。 <https://www.takasago.com/ja/ir>

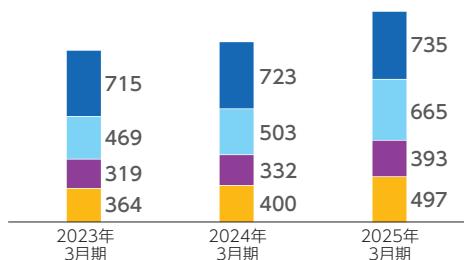
高砂香料 IR

検索

地域別概況

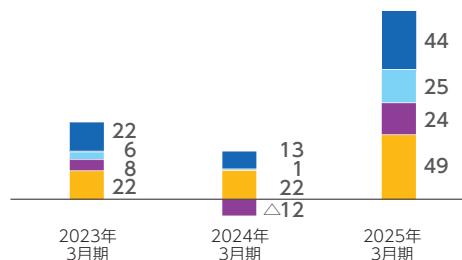
地域別売上高

単位：億円



地域別営業利益

単位：億円



■ 日本

フレーバー部門において飲料向け等が堅調に推移したほか、アロマイングリディエーツ部門での製品構成の最適化やファインケミカル部門でのセグメント間の内部売上高増加を主因として利益率が改善し、増収増益となりました。

■ 米州

前期末に米国子会社で新基幹システム導入に伴い発生した出荷調整の状況が改善したほか、製品構成・販売価格・原材料の最適化を通じて売上総利益が改善したことで、増収増益となりました。

■ 欧州

フランス子会社およびドイツ子会社等が好調に推移したことで増収となり、製品構成・販売価格・原材料の最適化を通じて売上総利益が改善したことにより、増益となりました。

■ アジア

シンガポール子会社およびインドネシア子会社等が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

部門別概況

フレーバー部門

売上高 **1,198億円** [前期比9.8%増 ↑]



- 米国子会社において飲料向け等が堅調に推移したことで、増収となりました。

フレグランス部門

売上高 **744億円** [前期比18.8%増 ↑]



- 米国子会社において、出荷調整の状況が改善したことで、増収となりました。

アロマイングリディエーツ部門

売上高 **156億円** [前期比20.7%増 ↑]



- スペシャルティ品が好調に推移し、増収となりました。

ファインケミカル部門

売上高 **178億円** [前期比84.0%増 ↑]



- 医薬品中間体等が好調に推移し、増収となりました。

※上記の他に、その他不動産部門の売上高14億円がございます。

中期経営計画「NGP-2」達成に向けて

アジア戦略の重要拠点

アジアフレーバー戦略部新設



〈アジアフレーバー戦略部とは〉

アジアフレーバー戦略部は2024年10月に新設しました。

NGP-2の基本方針の一つ「海外の成長」を強化すべく、日本本社の組織ながら、高砂シンガポールを拠点として活動をスタートしました。

目的と背景

「海外の成長」を強化する上でアジアは重要な市場の一つです。より高いレベルでお客様の期待に応えていけるよう、各アジア主要拠点との連携をより強固にできるよう、より近いビジネスの現場で活動していくためにシンガポールへ開設しました。

シンガポール、インドネシア、インド、中国上海、中国広州を網羅するアジア地域での横断的戦略の策定やその調整、ならびに重要得意先へのグローバルビジネスを強化していきます。そしてマーケットが成長し続けることが期待されるアジア地域において、当社のビジネス全体がますます発展し、成長できるようリードしていきます。

取締役 常務執行役員 フレーバー事業本部長

染川 健一

アジアフレーバー戦略部という本社機能がシンガポールにあることは大きな意味があり、アジア戦略の思いを形にした第一歩です。ビジネスの現場を肌で感じ、お客様との信頼関係・安心感につながる顧客満足の向上と、拠点との迅速な対応を図るべく強固な連携を構築するために、社内外のコミュニケーション強化をアジアフレーバー戦略部が担っていきます。



中国江蘇省張家港市に新会社設立

中期経営計画「NGP-2」では、基本方針の一つに「海外の成長」を掲げており、その一環として、中国における生産体制の強化を図るため、江蘇省張家港市に新会社を設立しました。

中国は、フレーバーおよびフレグランス業界において非常に有望な市場の一つとして期待しています。新会社の設立により、中国におけるサプライチェーンの最適化を図ることで、持続的な製品供給を行う生産体制を構築し、お客様に対して一層のきめ細かいサービスを実現してまいります。

新会社の概要

● 名称	高砂香料(張家港)有限公司
● 所在地	中国江蘇省張家港市
● 事業内容	香料の製造、販売
● 資本金	USD 50百万(約75億円) 1米ドル=150.00円換算
● 設立日	2025年4月7日
● 大株主および持株比率	高砂香料工業株式会社 100.0%



イメージ



統合報告書を発行しました

当社で初めてとなる統合報告書を発行しました。

統合報告書は、当社の財務・非財務両面の情報を統合的にまとめたものです。

中期経営計画や持続可能な成長に向けた経営戦略をはじめ、価値創造プロセスや人的資本の価値最大化に向けた当社の取り組みを、ステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えすることを目的としています。

初回となる2024年度版は、特に価値創造プロセスと人的資本に焦点をあて、財務・非財務情報の「統合」をめざしました。

当社コーポレートサイトへ掲載していますので、ぜひご覧ください。

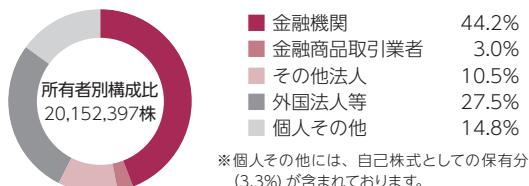
> https://ssl4.eir-parts.net/doc/4914/ir_material_for_fiscal_ym4/166183/00.pdf



株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,152,397株
株主数	4,965名

株式の分布状況



大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,890	9.7%
日本生命保険相互会社	1,468	7.5%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	998	5.1%
BNP PARIBAS PARIS/2S/JASDEC FRENCH RESIDENTS	994	5.1%
株式会社三菱UFJ銀行	947	4.9%
共栄火災海上保険株式会社	780	4.0%
中江産業株式会社	720	3.7%
高砂香料従業員持株会	473	2.4%
株式会社紀陽銀行	471	2.4%
J.P. MORGAN SE - LUXEMBOURG BRANCH 381639	440	2.3%

(注) 1. 当社は自己株式661,966株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しております。

2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数には信託業務に係る株式数が含まれております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座口座管理機関 同
(同連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711(通話料無料)

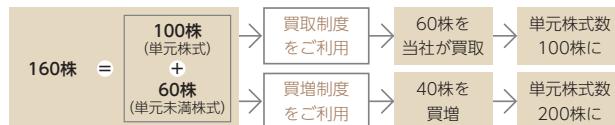
上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場(化学)
証券コード 4914
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL https://www.takasago.com/ja/ir/e_announce.html

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続きについて

● 単元未満株式(100株未満の株式)買取・買増制度について
当社株式の証券市場での取引は100株単位(1単元)となっておりますため、単元未満株式(100株未満)を市場で売買することはできません。このため、当社では「単元未満株式買取・買増制度」をご用意しております。単元未満株式をご所有の株主さまは、ぜひ買取・買増制度のご利用についてご検討くださいますようお願い申し上げます。

買取・買増制度の例(160株ご所有の場合)



サステナビリティ分野の取り組み

当社グループは、持続的な社会の実現に向けて、環境保全をはじめとしたさまざまな課題に対しグローバルに取り組んでいます。詳細については、当社ホームページ「サステナビリティ」をご参照ください。



高砂香料工業株式会社
『サステナビリティ報告書 2024』

URL

<https://www.takasago.com/ja/sustainability/data>



表紙の写真

若松梅枝蒔絵十種香箱

十種香に用いるさまざまな香道具の中から香箱(奥)と重香合(手前)を取り出したところ。艶やかに塗られた黒漆の表面に、金の蒔絵で若松に梅の文様が描かれている。正月の初子の日、根がついたままの若松を引き抜いてくると、その強い精気が身に移るとされ、梅も百花に先駆けて、馥郁たる香りとともに春の訪れを告げるめでたい花である。香という雅やかな遊びの道具を飾るにふさわしい華やかな文様であるといえよう。

撮影：十文字 美信

ヨーロッパ・中東・アフリカ

フランス	Takasago Europe Perfumery Laboratory S.A.R.L.
ドイツ	Takasago Europe G.m.b.H. Takasago International (Deutschland) G.m.b.H.
イタリア	Takasago International (Italia) S.R.L.
スペイン	Takasago International Chemicals (Europe), S.A. Takasago International (España) S.L.U.
イギリス	Takasago (U.K.) Ltd.
トルコ	Takasago International Turkey Esans Ve Aroma San. TIC. A.S.
南アフリカ	Takasago International Corporation South Africa (Pty) Ltd.
マダガスカル	Takasago Madagascar S.A.

アメリカ大陸

アメリカ	Takasago International Corporation (U.S.A.) Centre Ingredient Technology, Inc.
メキシコ	Takasago De Mexico S.A. De C.V.
ブラジル	Takasago Fragrâncias E Aromas Ltda.



アジア・パシフィック

日本	Takasago International Corporation	パキスタン	Takasago International (Pakistan) Pvt. Ltd.
シンガポール	Takasago International (Singapore) Pte. Ltd.	中国	上海高砂香料有限公司 上海高砂・鑑臣香料有限公司 廈門華日食品有限公司 高砂香料(広州)有限公司
フィリピン	Takasago International (Philippines), Inc.	韓国	Takasago International Corporation (Korea)
タイ	Takasago Import and Export (Thailand) Ltd.	マレーシア	Takasago International (Malaysia) Sdn.Bhd.
インドネシア	PT. Takasago International Indonesia PT. Takasago Indonesia		
インド	Takasago International (India) Pvt. Ltd.		